

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）⑬

1月19日に発出された沖縄県独自の緊急事態宣言は、2月28日で解除となる見通しです。県内では2月のスポーツキャンプも無観客実施となる等、まだまだ厳しい状況は続きますが、2月10日からは県内宿泊施設緊急支援策として「同居家族でstay hotel」も開始されております。つきましては、組合員施設の実情を集約したく、調査を実施いたしますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、集計データについては、数字のみ活用し、施設名は外部に公表いたしません。

また、ホテル組合ではホームページに毎月実施している影響調査の集計結果や関連情報を掲載しておりますので活用下さい。

令和3年2月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

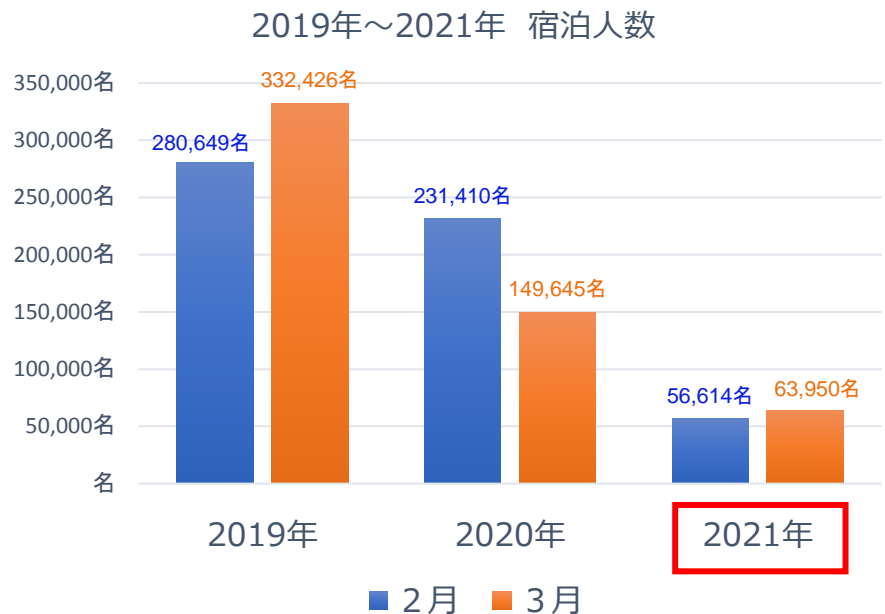
調査対象：296軒 うち回答：50軒（回答率 16.9%）

1. 2月～3月の状況について（過去2年との状況比較）

① 宿泊人数について

2019年2月	2019年3月
280,649 名	332,426 名
2020年2月	2020年3月
231,410 名	149,645 名
2021年2月	2021年3月
56,614 名	63,950 名

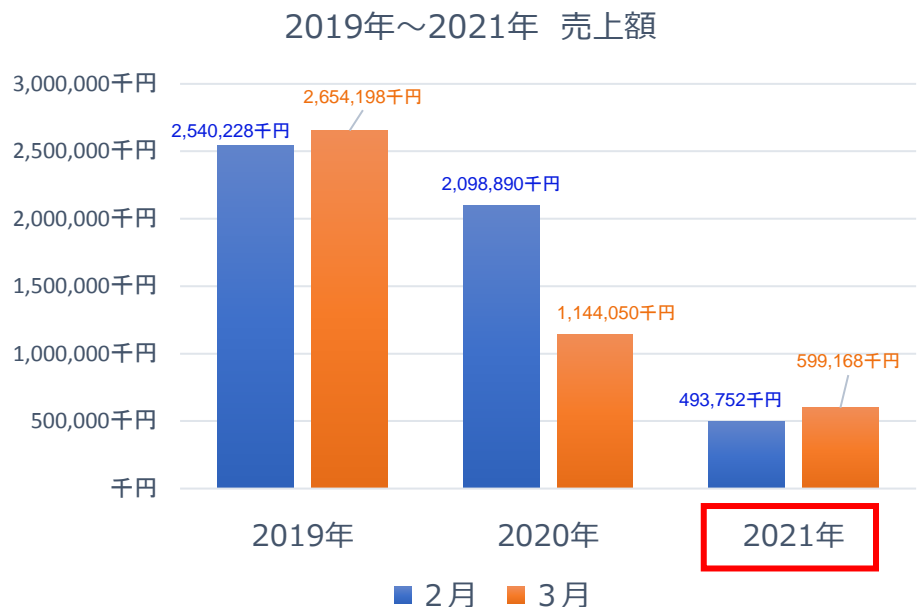
2月	3月
2019年対比	2019年対比
▲79.8%	▲80.8%
2020年対比	2020年対比
▲75.5%	▲57.3%



② 売上額について

2019年2月	2019年3月
2,540,228千円	2,654,198千円
2020年2月	2020年3月
2,098,890千円	1,144,050千円
2021年2月	2021年3月
493,752千円	599,168千円

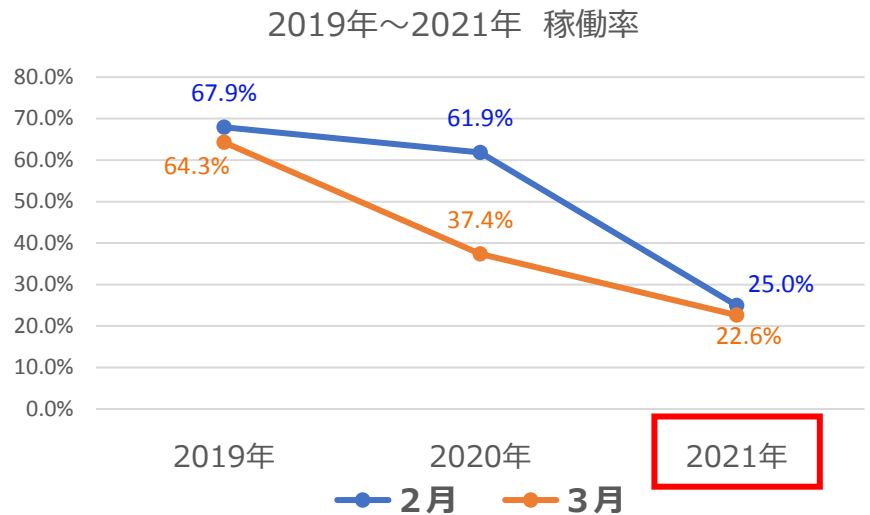
2月	3月
2019年対比	2019年対比
▲80.6%	▲77.4%
2020年対比	2020年対比
▲76.5%	▲47.6%



③ 平均稼働率について

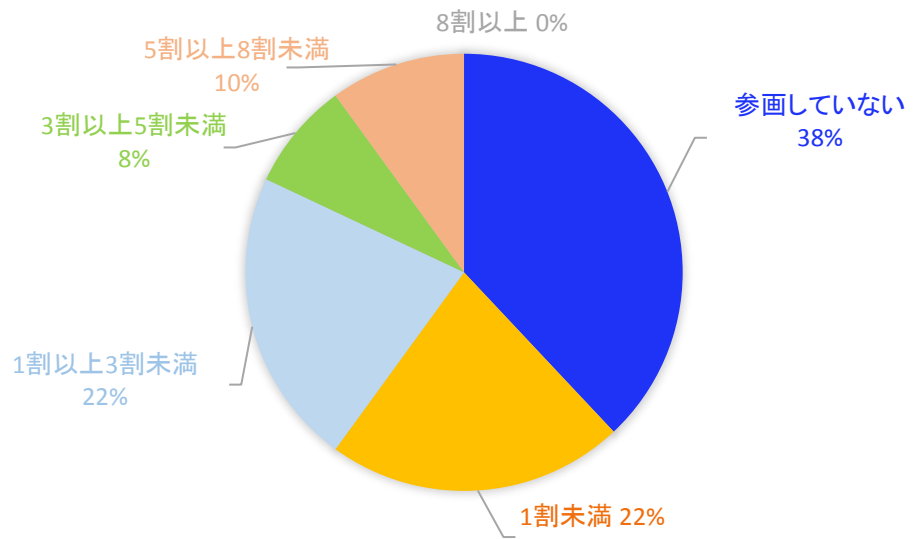
2019年2月	2019年3月
67.9%	64.3%
2020年2月	2020年3月
61.9%	37.4%
2021年2月	2021年3月
25.0%	22.6%

2月	3月
2019年対比	2019年対比
▲63.2%	▲64.8%
2020年対比	2020年対比
▲59.6%	▲39.5%



2. 2/10～28まで実施されている「同居家族でstay hotel」の売上額は、全体の何割くらいを占めていますか？

50軒中	
参画していない	19
1割未満	11
1割以上2割未満	7
2割以上3割未満	4
3割以上4割未満	3
4割以上5割未満	1
5割以上6割未満	0
6割以上7割未満	3
7割以上8割未満	2
8割以上	0
(軒)	



- 同居家族でstay hotel について、一定の集客はございましたが、緊急事態宣言を受けディナー営業を縮小していたこともあり、2食付プランでは思ったほどの効果は得られなかった現状もある。
- 1割程度が、「同居家族でstay hotel」を利用。（ビジネスホテルなので県外が多いためこの結果にとどまる）
ちなみに、今回のstay hotelプランに関しましては、ビジネスホテルでの利用がリゾートホテルに比べかなり差があると感じた。
もう少し沖縄県の南部・中部・北部・離島に対しての地域ごとのプランをお願いしたいです。
- 初回提供利用枠が50万円（100名分）でしたので、1.6%でした。終了間際に60万円の追加枠を頂きましたが未消化で終わりました。
- 土曜日、休み前の日に予約が多かった。今回の支援事業に於いて、小規模施設にも恩恵があったと感じています。
- 追加補助金通知のタイミングが遅く使いきれなかったのが残念。
- 休業中のため参画しなかった。
- 食事施設がないため参画しなかった。

3. 今後の動向状況などをお聞かせください。

【那覇市～南部エリア】

- ・3/1より県独自の緊急事態宣言が解除されたが、予約の動きは弱い。首都圏の緊急事態宣言が解除され次第、動きが出ると思われるが旅行を考えている大半が、Go To の動きをにらみつつ予約を抑えているのかなと感じる。飲食店部門は予約の動きが早い。県内特有のモアイ等で先行的に予約が入ってきているが、コロナ前のような人流が生まれるかは当分の間ないであろう。
- ・依然として予約が低迷。緊急事態宣言解除に向けて準備を進めているが、Go To ツラベルや、彩発見キャンペーン（沖縄県独自策）などの対策が必要となる。
- ・Go To ツラベルキャンペーン、その他補助金施策、緊急事態宣言による料飲店舗の時短営業解除等がないと非常に厳しい状況。
- ・3月は若干の動きが見えてきているが不透明。4月以降は全く動かず。
- ・ここ数日は3月宿泊分・個人予約分が若干動き出しているように思われる。4月以降、個人の動きはほとんどない。3月は、団体・小グループの予約はほぼゼロだが、4月以降は若干予約がある。（前年と比べると大幅減）
- ・緊急事態宣言の終了が見えてきた中、少しずつ予約数が伸びている状況。ゴールデンウィークに向け各OTAにて特集も組まれており今後の更なる予約数増に期待します。
- ・緊急事態宣言解除後に予約が入ってくることに期待したい。また、修学旅行が10月頃より少し戻ってきています。
- ・ブッキングペースは遅いままであり、Go To 再開の発表・詳細が出るまでは、レジャー客の需要は見込めないと考えている。
- ・2月いっぱい、stay hotel利用のお客で予約が入っているが、3月からはまた稼働が落ちている状況。
- ・前日よりピックアップの状況が改善。旅行会社の動きが微増。3月本来の姿からはほど遠い。
- ・3月・4月も依然として非常に厳しい状況。5月以降のリードタイムも例年と比べ遅い。
- ・彩発見、Go To 次第ですが、3月など稼働が非常に悪いので先行きが見えない。
- ・現状としては、今後の予約状況は更に落ち込む見込み。
- ・Go To 再開次第である。
- ・悪い（稼働は2割～3割程度。）

【中部エリア】

- ・4月以降も稼働率15%台が続き厳しい状況である。修学旅行について、4月～6月でキャンセルが増えている。（各県内へ変更になる学校もある）
- ・第一四半期の団体や修学旅行のキャンセルが出ている。Go To ツラベル待ちなのか集客が芳しくない。
- ・非常に厳しい状況は、今年いっぱい又は来年も続くと思います。なのでもっと観光業界に支援対策を行うべきだと思います。

【北部エリア】

- ・修学旅行など団体予約は3月まではほぼキャンセル。当初、3月は5,000人泊予定が400人泊の着地見込み。また、4月も3,000人泊から1,500人泊へ減少。ここからさらに減少していく見込み。全体的に厳しい状況に変わりはないが、週末は県内客の宿泊が見込めるため動きがある。（土曜日のみ50～70%）しかし、「同居家族でstay hotel」がなければ、週末も厳しい結果になった。また、県内客だけでは限界があり、特に平日の稼働をあげるためには県外客の誘致が必要。Go To キャンペーン等観光施策の早期再開が望まれる。
- ・2021年1月25日～3月末日まで閉館。4月1日より再開。レストラン個人客受入不可。（教育旅行、団体は除く）次年度、屋外プール営業中止予定。館内売店の撤退。
- ・感染症の状況を様子見している状況が続いている。2019年の動きに対し、2割～3割落ちた数字で推移している。
- ・非常に厳しい状況が続いています。（4月～6月の修学旅行＝中学生の沖縄旅行中止など）
- ・2月に比べると3月の予約状況は伸びているので緊急事態解除後の伸びを期待したいところ。
- ・稼働が弱い日程は営業を自粛なども視野に入れて検討中。
- ・現時点では特に大きな変化はない状況でございます。
- ・徐々に予約が入っているが、まだまだ動きが少ない。
- ・雇用調整助成金を活用しながらやり過ごします。
- ・3月～4月が徐々に動いてきました。
- ・引き続き県内客誘致を行います。
- ・先が読めません。

【離島エリア】

- ・少しずつ、緩やかではあるが予約が増えてきつつある。海外にダイビングに行っていたお客様やショップからのお問い合わせが増えてきている。また、Go To 再開し予約が増えても、スタッフ不足のためホテル受入れに不安がある。
- ・3月の春休み期間はまだ予約はあるのですが、4月以降の予約は全体的に前年の30%以下です。
- ・相変わらず厳しい状況は続いているが、ゴールデンウィークと夏休みの予約が入り始めています。
- ・これから感染者拡大がなければ、ゴールデンウィークから本来の姿に戻る。
- ・ゴールデンウィーク期間までは、1日平均2部屋程の稼働が続いております。再安プランも販売中。
- ・ゴールデンウィークの予約は少しずつ入ってきている。

- ・ 希望が持てない。

4. 組合へのご意見・ご要望など

- ・ 県は彩発見をマイクロツーリズムの柱として施策履行しようとしているが、当然、彩発見だけではすそ野の広い観光産業全体にその恩恵が行きわたるはずもなく、第2・第3の補助事業を県はもとより市町村レベルでも行うべく、行政や議員に対しての強い要請活動を切れ間なく推し進めるべき。場合によっては補助事業の事務作業など、事務局の負担になるような請負作業も派生するであろうが、ぜひ協力頂きたい。
- ・ Go To トラベルキャンペーン再開に向けて、国内地域間競争が激化しますので、県やO C V Bに働きかけてP R動画など（デジタル配信）制作配信をプッシュお願いします。長崎県の観光P Rなどユニークなものが多いです。 ※観光立県沖縄らしい、支援補助を観光業界に増額いただきたいのでその点もプッシュお願いします。北海道や、石川県等、桁が違います。
- ・ ホテルは感染症対策を行っており、安心安全に旅行ができる事を、しかるべき日に大々的にP Rしてほしい。
沖縄県また国への要望ではございますが、沖縄彩発見・Go To等の観光施策では中小ホテルにも公平に予算を分配、またお客様の心理的にもハイクラスだけではなく均等に宿泊できるようなキャンペーンとなる事を期待しております。各O T Aでも販売されるのが望ましい。
- ・ 観光業全体が苦しい。持続化給付金が飲食業のみ適用された協力金が他の業種にも必要だと感じます。組合で声があがっているのであれば、県や国に要請していただきたい。
- ・ 飲食店には支援対策（決められた額の補助金）があるのに対し、ホテル業界には何も補助金がない。今回のstay hotelに関しても、交付金はあるが、交付金を達成できないと全額もらえない。達成できていないホテル（弊社含む）も多少はあるのが現状だと思います。達成した分のみ補助金があるのは、有り難いことですが、達成・達成できない関係なくそのままの交付金を支援として欲しいのが現実です。
- ・ Go To トラベルが再開されるとお客様は戻ってくると思いますが、感染の不安はぬぐえません。やはり、何かあった時のための補償はしっかり考えておくべきだと思います。
- ・ 今後も厳しい状況が続くので補助金などの支援を、国や県に対して要望し続けて頂きたい。
- ・ 旅行前PCR検査・ワクチン接種などをした方を対象とした旅行キャンペーンやそれに対する補助金などがあれば良いのではないかと考えています。
- ・ 次年度に、再度、宿泊施設施策の開始を要望いたします。「県民1人1泊運動」を呼びかける、等も展開してほしい。
- ・ おきなわ彩発見キャンペーンが3月よりスタートすると聞いております。これまでのようにリゾート施設や高価格のホテルに予約が一極集中しない対策をお願いしたい。
- ・ 3月以降、もし施策があるのでしたら、幅広いプラン造成が可能な柔軟な施策内容にてお願いできれば幸いです。
- ・ 県民独自のキャンペーン掲示等。
- ・ 消毒用の消耗品の援助。那覇とま〜るの再開プラス県民対象の予約。
- ・ 地域にあったプランなどのイベント、その他をもう少し考えてはいかがでしょうか？
- ・ 那覇市の「なはとま〜るクーポン」、「沖縄彩発見」、「同居家族でstay hotel」など補助金施策は早めに情報があると助かります。申請書類や商品設定の準備期間が短すぎる為。
- ・ stay hotel事業の受付から〆切までの時間が短かった。追加枠を出した際に県民に向けて追加した事を発表していただければと思いました。少ない時間での支援事業の詳細発信等ありがとうございました。
- ・ 組合の問題ではないが、大手ホテルだけでなく、小規模ホテルにもうまく還元できる補助などがあればいい。
- ・ 従業員を多く抱え、出向先などを探しています。組合で出向を求めている企業などご存知でしたら教えてください。
- ・ 早く元に戻る事を望みます。